

平成13年10月

関西経済連合会  
科学技術委員会委員各位

奈良先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究調査センター  
教授 今田 哲

産学連携に伴う利益相反への対処のためのガイドライン  
に関する調査の協力依頼について

拝啓 錦秋の候、各位におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私どもは、一昨年度以来、文部科学省が実施している「21世紀型産学連携手法の構築に係るモデル事業」の一つとして、＜産学連携に伴う利益相反＞の問題に取り組んで参りました。本年度はガイドライン作成のために、＜産学連携の事例に関するアンケート＞を実施し、まず国立大学の教官を対象にアンケートを実施したところ、学長、副学長等の大学の要職から研究の第一線の助手に至る幅広い層から充実した意見が寄せられました。

そこで、産学連携における大学のカウンターパートである産業界の方々のご意見を拝聴し、双方を比較することによって調査の意義を一層深めたいと考えるに至り、関西経済連合会事務局に依頼し、ご検討いただいた結果、科学技術委員会委員各位にお願いすることになりました。

産業界については関経連各位のご意見のみを伺うこととなりますので、是非とも多数のご回答をいただきたく、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

ご多用中まことに恐縮ですが、平成13年11月15日期限でファックスにてご回答お願い致します。

末筆ながら貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具